

一代記
大全

武徳鑑倉山記

三之卷

旅¹³
178
3

13
178
3



178
3

東京
武蔵
書

武德録倉田記卷之第三

目録

- ① 中將家大存跡小將志々重（附）并京附一の宮乃様を落る事
- ② 京河父子滅亡（附）安房判官代隆重中捕
- ③ 比企糟谷以下恩賞と編り并武田若衆付有義梶原了一味乃事

武德録卷之三

目録

四 波多勢三郎盛通七郎則宗をいける

附 畠山次郎重忠勇力の事

五 美壁紀内重通が忠義とけりける并生揚

一 芝原左衛門運倉小下美礼事

六 岡崎四郎義実入道慈訓并念佛禁

一 新礼事

武徳録倉田記第三之卷

一 中將家太在邸より移り信子系母一室の極とある事

の事ハ正治二年三月十三日故太右衛門尉一因忠と

により法花堂小抄のて作らるるを候しき。小桑屋以下。在

強念の面く。我もくと懸素と。守師ハ兼上房乃律師

榮あたり。又伊豆の國。朝成院院の小此方ハ。故太右衛門

いまごころ昔時依成とて。配あまかりて一河の清亭の記

よりにより。小桑をいりて四段のたの沙汰とて。松園と

建立し。孫院乃三子。并に足助。地務未乃。其像と安室

や。海。そ不伊豆。後河。武彦。相換ふの。國。これ。松院

其のて。故太右衛門の。作喜院と。いふ。いふ。と。なる。おま



武徳卷之三

おもむきついで攻められ。梶原が来たも。今頃のぐれぬ雨で。穴
みはかりし。敵の陣。飯田甲府有後と。梶原平三打たれり。飯田
も命に足と。目の赤小付也。あついで。さういふ。二。三。と。一
切に入る。二。三。三。原。是。より。て。飯田討て。おけけ。や。と。切先
を。お。き。て。切。り。逃。り。入。つ。音。敵。の。か。ら。あ。ら。若。者。小。治。郎。淡
阿。原。高。三。郎。冬。敵。小。治。郎。以下。の。由。人。お。し。し。み。と。つ。と。い。ふ。
若。原。三。郎。お。い。し。と。り。り。忍。い。く。敵。を。わ。げ。て。敵。の。陣。は。梶。原。が
命。も。た。し。枕。と。あ。つ。付。死。と。若。原。小。治。郎。ま。は。ま。す。ん。で。戦。ふ
所。に。梶。原。平。三。郎。ま。よ。り。て。わ。い。し。討。死。す。り。下。に。い。ふ。と。
房。上。下。下。に。い。ふ。二。三。と。い。ふ。ま。あ。ら。か。と。と。ら。ん。若。原。三
郎。は。い。り。り。り。り。意。圖。成。り。て。あ。つ。首。と。り。て。ま。あ。ら。る。若。原。三

乳。子。は。二。三。と。い。ふ。と。ま。ま。と。し。ず。く。絶。若。原。打。死。し。物。し
し。や。り。し。後。は。又。若。原。と。も。絶。死。す。首。と。り。て。切。り。り。り。り。り。
討。死。す。と。い。ふ。より。早。く。い。つ。ま。と。命。と。惜。ま。し。と。り。り。死
せ。り。若。原。三。郎。若。原。小。治。郎。と。絶。死。す。わ。ら。い。の。事。と。同。し。い。知
と。り。陣。舎。及。れ。籠。死。す。梶。原。平。三。郎。若。原。高。三。郎。三。男。と。も。若。原。討。死。す
と。た。り。若。原。の。事。い。何。れ。も。其。名。氏。性。は。あ。ん。と。り。我。の。高。三
の。伯。人。若。原。小。治。郎。と。い。ふ。若。原。と。交。せん。と。い。ふ。若。原。の。事。不。足
い。ふ。た。お。い。は。れ。も。惜。ま。す。よ。れ。絶。死。す。と。い。ふ。若。原。を
あ。つ。お。さ。首。と。り。ん。と。す。り。命。を。温。海。若。原。ま。あ。ら。る。じ。り。ら。ら
意。圖。の。事。と。い。ふ。若。原。と。若。原。す。り。す。す。の。り。の。り。若。原。若。原
首。と。り。七。命。若。原。今。身。九。命。若。原。今。身。何。を。う。期。と。い。ふ。と。

さる改をあり命未たはばあはたたまきて。ととあつてうけ入七願
八倒して戦へ。吉香。若原以下の老も。常宗兄弟に助けをられ
多しよいさぶ。西人亦多く來り。切り。矢尻と拵てさぐり
わろ。丸糸。常連の。首の骨と拵られて。馬より下いさぶとあはれ
工若八郎のあの子。工若六。走寄て首とせう。七命。常宗。持原。常宗
も。痛と殺す。西人。今い。是ととて。二人。常遠とどけり
けり。父の平。常河へ。様子。源をなら。常宗。常宗。常宗。平次。常河。射
常宗。六男。八命。常則。安房。刺。交代。常宗。以下と拵ひ。じろの
らよ。入て。松。柏。生。ま。け。り。と。う。だ。と。そ。い。た。う。け。あ。く。お。殺。入。
猪。不。う。り。り。ま。い。ま。れ。い。つ。と。あ。め。い。へ。ま。短。兵。多。く。責。
ま。れ。い。橋。東。り。名。未。た。も。あ。り。が。り。あ。く。付。せ。ね。源。を。な。る。射。常。宗。

も。は。け。り。の。と。我。い。う。け。う。流。は。名。が。平。次。が。命。未。中。次。た。り。は。け。り。
と。父。の。常。河。の。ま。が。け。り。と。せ。う。り。け。り。が。殺。は。と。し。り。入。り。
家の。子。れ。常。宗。又。を。命。と。ら。う。も。今。い。え。つ。ま。き。な。い。ん。命。つ。の。自。
害。せん。と。い。ふ。也。海。の。我。い。子。が。首。と。た。人。の。命。と。う。西。へ。け。り。り。
押。め。よ。と。て。六。男。常。宗。の。射。常。宗。六。男。八。命。常。則。と。と。な。念。仏。十。
遍。中。と。ま。り。一。月。は。後。と。ぞ。切。り。け。り。又。は。常。宗。の。三。人。の。首。と。拵。
れ。殺。す。と。う。り。の。ん。と。せ。う。が。殺。す。わ。じ。め。り。ま。じ。う。は。常。宗。の。罪。は。
首。と。拵。り。よ。一。本。の。葉。と。せ。ひ。け。り。想。と。つ。い。本。の。葉。と。と。く。
め。て。切。れ。と。う。り。は。常。宗。の。命。未。と。あ。り。は。中。い。け。入。て。常。宗。の。と。
る。め。り。も。橋。東。の。子。人。が。首。と。拵。り。の。命。未。と。あ。り。を。殺。す。常。宗。の。
己。の。罪。の。い。う。り。と。て。常。宗。の。命。未。と。あ。り。を。常。宗。の。命。未。と。あ。り。

が親像として付するの人は被とらるやと持とるなり

③六全槽を以下世貴と賜る并武田有義橋本に一時

去程は橋本平と重河父子と指券として付た旨後河乃西人

等。種金ふれあふ。公家の御指と指する。いづく付はれ法勢

も悪く御指しけし。中お家御指びのさりなり。同廿四日

安達源と親とと申使くとおよそせせむい。橋本父子

運公の企むのより。殊伐とらるる也。のれがよ堂共ゆく

重河より中へ。能く思ふに。おめあふ。さきより。重河の

出儀大内お授与惟義。依本本おあたる射廣徳以下は知

し。又加茂政家。重河の年比重河と新令の支なり。し。

その中え方。いづれが強傑よ。同廿四日。のり。は報

寄のりて。おら。お授と没収あり。不守の程とて。けし。は

た。日。重河父子。お授。英作の。ぬけ。後。徳。以下。お。と。と。と。

ぬ。と。と。と。ぬ。後。河。の。ぬ。乃。後。人。お。若。香。若。系。矢。取。お。越。以下

ぬ。勤。功。乃。貴。と。あ。て。お。と。と。と。ぬ。お。比。全。吉。系。射。槽。を。系

射。二。者。お。流。局。お。い。ま。と。追。つ。つ。と。と。と。ぬ。重。河。滅。せ。と。と。と。

し。と。と。ぬ。況。よ。追。討。使。と。ら。る。り。と。と。と。各。無。貴。と。と。と。と。と。と。

重河が今。刑。の。重。友。系。の。室。の。こ。と。の。ぬ。れ。お。び。て。お。と。と。

ける。が。乃。の。重。河。を。た。す。い。ぬ。重。河。が。運。公。よ。同。廿。四。日。の。由

と。の。び。て。お。お。お。重。河。の。方。へ。給。人。と。ぬ。て。お。と。と。と。の。り。お。と。

同。廿。八。日。の。お。入。り。て。停。泊。を。命。じ。え。甲。斐。の。國。より。お。と。と。

お。と。と。と。ぬ。武。田。吉。系。射。有。義。重。河。よ。お。と。と。と。ぬ。が。運。公

武田有義

重河

清いぬと結つてをり

④ 坂田正通七郎則家とは捕付畠山正忠勇力ゆ
 実ハ徳本七郎則家ハ。年ハ中におも。眼をじまり共らりけり。
 抗平と云海ハ。朋友のう。ちうをけるゆへ。わねが運
 外。継ヤ。し。ま。か。れ。あ。ら。な。ば。だ。ら。り。を。て。け。捕。ら。る。と
 以。定。し。ら。ぬ。能。た。う。れ。い。お。獲。の。ま。要。し。と。大。力。を。双。り。の
 ら。れ。い。能。く。行。け。る。べ。し。と。そ。人。と。あ。ら。は。れ。が。彼。も。此。れ
 と。而。普。通。ハ。力。を。世。に。え。し。れ。ば。う。ま。と。組。み。に。行。け。し。と。
 同。二。月。二。日。清。河。の。侍。あ。し。と。徳。本。七。郎。を。生。捕。ら。る。と。そ。
 則。家。と。い。は。れ。ら。る。徳。本。七。郎。は。侍。の。う。ま。い。も。ま。し。と。
 ら。み。後。と。何。を。ま。へ。は。お。の。侍。は。よ。う。と。言。ふ。彼。も。時。の。ま。さ。

普通はよひをままたつじろより進付より。別家とい
 ふとい。別家のい。う。ま。ら。う。か。ら。あ。ら。な。れ。と。い。精。藉。せ
 り。ら。り。や。く。の。い。け。い。ぬ。と。按。力。と。す。い。た。と。い。並
 通とい。ん。と。す。畠山正忠。お。う。い。ら。い。の。侍。け。ら。り。
 昔。あ。ら。た。の。い。の。べ。別。家。が。大。の。ぬ。と。能。力。に。い。ご
 ころ。ま。ら。う。い。し。た。に。別。家。と。う。ら。り。ん。と。す。り。可。を。ま。ま。
 ち。う。ら。り。も。あ。ら。い。と。打。せ。ら。り。別。家。し。ら。を。打
 せ。し。て。ぬ。ま。う。わ。ら。ら。る。お。は。普。通。地。を。せ。け。ら。ぬ。と。い。
 ぶ。紀。回。と。い。と。す。和。田。ち。の。尉。義。隆。の。後。と。い。ふ。ま。ま。徳。本。七
 本。と。い。は。ら。り。と。清。河。侍。と。い。の。ま。ね。を。あ。ら。す。別。家。の
 け。ら。り。抗。平。と。云。海。と。い。う。に。は。度。遠。保。と。い。と。す。統。治。と。

後飲と云ふ。一宮百と給ひて。其の旨。のこし。も。ぬ。き。し。し。
 ゆん。と。や。ぬ。ま。本。倉。ま。ん。と。も。出。列。の。一。族。あ。の。あ。れ。つ。つ。り。の。
 と。ら。但。其。其。と。さ。び。ゆ。と。り。わ。田。な。つ。や。て。ゆ。ち。は。振。あ。
 と。れ。い。わ。く。其。吾。氏。見。ゆ。と。せ。あ。く。給。け。を。ね。り。り。日。み。日。た。
 其。射。美。並。と。さ。て。い。け。市。の。列。道。の。補。せ。る。と。去。わ。る。治。兼。
 甲。年。強。倉。本。朝。の。可。り。し。て。い。職。補。せ。ら。る。の。お。め。さ。
 後。建。久。三。年。格。本。平。三。重。河。ま。と。り。と。り。い。ふ。り。さ。し。其。
 て。い。じ。職。と。一。日。ゆ。も。あ。り。た。よ。ひ。く。す。く。い。あ。を。や。り。お。
 ぬ。一。家。並。さ。り。り。さ。て。出。仕。せ。ざ。り。し。る。重。河。わ。く。と。後。は。侍。
 下。乃。列。道。と。あ。り。た。の。い。り。り。さ。れ。の。さ。れ。ば。さ。れ。り。
 と。ぬ。く。奸。係。と。め。ぐ。し。今。め。い。職。は。わ。り。り。た。美。並。と。

先此。及び。い。ひ。の。い。と。り。て。昔。し。ける。が。重。河。は。度。減。と。せ。
 う。い。か。と。存。て。を。一。補。せ。り。終。り。

又。其。強。倉。内。並。通。が。是。美。と。ゆ。ゆ。り。等。生。捕。ま。る。と。あ。

強倉以下之事

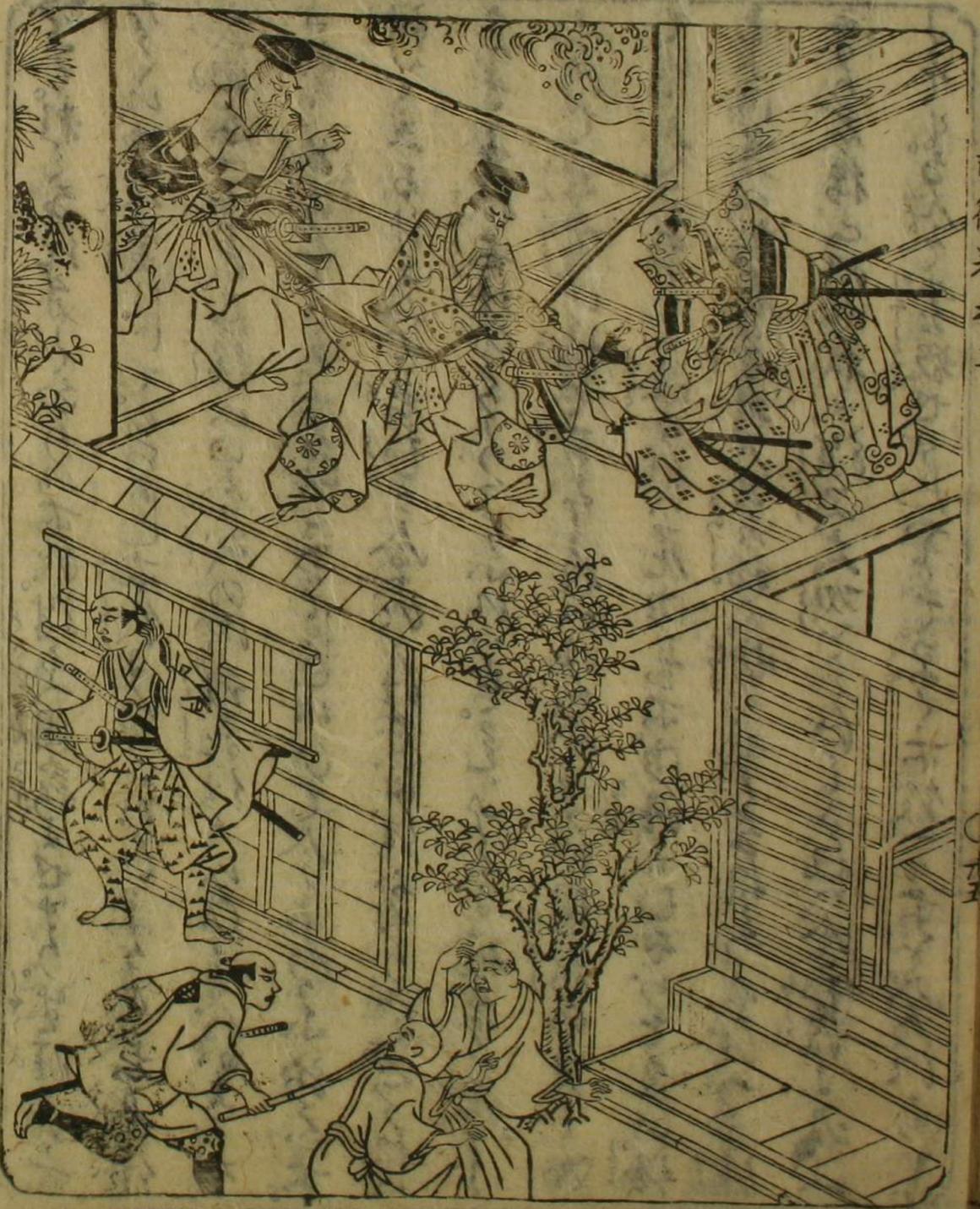
日六日。由。あ。ま。か。か。て。後。本。七。命。別。家。が。羅。科。の。り。茶。に。波。多。
 形。三。命。並。通。が。則。家。と。生。捕。し。勤。功。の。賞。付。し。と。る。は。由。海。
 い。あ。り。昔。度。以。大。に。磨。え。を。更。入。り。若。後。又。昔。生。並。衛。白。尾。
 氏。分。並。列。え。お。これ。を。あ。る。家。に。其。強。倉。内。と。い。ふ。の。あり。
 口。は。並。通。と。是。係。と。さ。し。と。さ。み。け。り。が。け。後。並。通。が。勤。功。と。
 一。孫。と。い。は。り。後。本。七。命。が。生。捕。ま。り。し。と。は。い。は。り。波。多。
 う。さ。あ。ふ。の。い。は。り。其。美。の。自。ら。い。は。り。其。美。と。生。捕。し。し。は。ぬ。

しつひに交戦系が滅亡する事その事なり。なほ一とて其意をか
くりしにせしむるをこの格を以て城とす。しつひに其意をか
ふせむるを以て城とす。なほ一とて其意をか
あやしの心おのれぬ。いふ子悉く其意を以て。其意の廣きも
いふとす。いふ心おのれぬ。いふ子悉く其意を以て。其意の廣きも
弱りていふ心おのれぬ。いふ子悉く其意を以て。其意の廣きも
策とめらるる事。いふ心おのれぬ。いふ子悉く其意を以て。其意の廣きも
安んずる事。いふ心おのれぬ。いふ子悉く其意を以て。其意の廣きも
格闘の心おのれぬ。いふ心おのれぬ。いふ子悉く其意を以て。其意の廣きも
いふ心おのれぬ。いふ心おのれぬ。いふ子悉く其意を以て。其意の廣きも
いふ心おのれぬ。いふ心おのれぬ。いふ子悉く其意を以て。其意の廣きも

こがら。格の上より引きて。火と敵ら焼落さん。何の子を
いふ心おのれぬ。いふ心おのれぬ。いふ子悉く其意を以て。其意の廣きも
いふ心おのれぬ。いふ心おのれぬ。いふ子悉く其意を以て。其意の廣きも
いふ心おのれぬ。いふ心おのれぬ。いふ子悉く其意を以て。其意の廣きも
いふ心おのれぬ。いふ心おのれぬ。いふ子悉く其意を以て。其意の廣きも
いふ心おのれぬ。いふ心おのれぬ。いふ子悉く其意を以て。其意の廣きも
いふ心おのれぬ。いふ心おのれぬ。いふ子悉く其意を以て。其意の廣きも
いふ心おのれぬ。いふ心おのれぬ。いふ子悉く其意を以て。其意の廣きも
いふ心おのれぬ。いふ心おのれぬ。いふ子悉く其意を以て。其意の廣きも
いふ心おのれぬ。いふ心おのれぬ。いふ子悉く其意を以て。其意の廣きも
いふ心おのれぬ。いふ心おのれぬ。いふ子悉く其意を以て。其意の廣きも

西の親長由西の上より。相よせむる。二日。御くわしより。赤松
 の人々に伴の御下。後。いふ。上。まゝ。の。あ。こ。ふ。は。七。日。付。ま。わ。ら。ず。御
 度。御。好。者。な。り。射。基。信。太。人。此。向。ひ。被。承。奉。り。幸。時。が。あ。ら。は。せ。ら。し。め。り
 の。家。と。進。補。し。か。し。い。ひ。お。り。ま。た。と。し。捕。て。し。ら。せ。り。ひ。く。ら。い。ま。
 及。び。い。は。び。き。承。奉。奉。保。執。承。奉。り。し。り。ん。と。ら。や。び。ら。お。も。持。持。下。ら。
 池。より。け。坊。門。の。ま。ま。い。い。ひ。ひ。が。幸。河。院。了。殊。代。と。ま。り。し。や。う。を。せ。ら。
 秀。去。て。い。育。白。お。は。り。い。り。幸。徳。基。信。お。く。勢。と。ま。つ。り。
 君。は。ら。た。れ。し。り。ま。い。の。ま。ま。い。の。た。と。て。つ。あ。い。ひ。ひ。ら。い。ひ。
 よ。た。い。え。く。し。あ。ま。は。と。と。と。と。お。同。な。り。幸。時。の。御。お。い。を。と。と。と。
 々。同。正。日。幸。時。御。度。え。き。入。り。入。り。由。西。の。ま。ま。い。の。御。お。い。ひ。ひ。
 一の。ま。ま。い。の。ま。ま。い。ひ。ひ。の。ま。ま。い。の。御。お。い。ひ。ひ。

御前より。二日。御くわしより。赤松
 の人々に伴の御下。後。いふ。上。まゝ。の。あ。こ。ふ。は。七。日。付。ま。わ。ら。ず。御
 度。御。好。者。な。り。射。基。信。太。人。此。向。ひ。被。承。奉。り。幸。時。が。あ。ら。は。せ。ら。し。め。り
 の。家。と。進。補。し。か。し。い。ひ。お。り。ま。た。と。し。捕。て。し。ら。せ。り。ひ。く。ら。い。ま。
 及。び。い。は。び。き。承。奉。奉。保。執。承。奉。り。し。り。ん。と。ら。や。び。ら。お。も。持。持。下。ら。
 池。より。け。坊。門。の。ま。ま。い。い。ひ。ひ。が。幸。河。院。了。殊。代。と。ま。り。し。や。う。を。せ。ら。
 秀。去。て。い。育。白。お。は。り。い。り。幸。徳。基。信。お。く。勢。と。ま。つ。り。
 君。は。ら。た。れ。し。り。ま。い。の。ま。ま。い。の。た。と。て。つ。あ。い。ひ。ひ。ら。い。ひ。
 よ。た。い。え。く。し。あ。ま。は。と。と。と。と。お。同。な。り。幸。時。の。御。お。い。を。と。と。と。
 々。同。正。日。幸。時。御。度。え。き。入。り。入。り。由。西。の。ま。ま。い。の。御。お。い。ひ。ひ。
 一の。ま。ま。い。の。ま。ま。い。ひ。ひ。の。ま。ま。い。の。御。お。い。ひ。ひ。



約つる。と。白尾の光と申は。とて。中野家の由方。つら。せ。め。ひ
り。その世まで。法苑の名字と候。む。男。女。その。時。に。より。は。
念仏を修して。因果と約する。の。より。中野家。由。年。久。く。持。来。と。ね。
ご。め。う。つ。され。せ。め。ひ。て。大。念。仏。を。い。つ。ま。う。つ。せ。め。ひ。の。あ。ま。り。と。
念。仏。持。越。の。名。と。候。ま。され。何。れ。の。也。念。仏。と。い。は。候。は。し。り。
を。い。て。か。か。家。と。い。は。れ。ぬ。悉。く。焼。捨。下。と。い。は。念。仏。持。越。の。由。
候。も。法。苑。持。越。を。あり。月。又。月。の。陰。載。持。越。の。色。に。行。
向。ひ。種。念。中。に。あり。亦。の。念。仏。乃。信。徒。と。い。ふ。の。か。か。家。と。別。れ。
て。月。毎。よ。そ。と。焼。捨。下。ん。物。の。も。砂。市。と。い。ふ。ま。は。け。じ。を。し。
唇。と。い。ふ。が。い。て。その。と。笑。つ。す。い。つ。ま。う。つ。ま。う。つ。ま。う。つ。ま。う。つ。
又。は。信。勢。の。由。方。ま。り。つ。ら。保。念。房。と。い。ふ。乃。念。望。園。の。信。

中。と。い。は。上。野。保。念。房。と。い。ふ。人。か。か。家。と。い。は。れ。り。大。市。に。入。れ。て
や。ん。と。守。保。念。と。い。は。れ。後。に。それ。信。乃。保。念。と。候。の。か。か。家。と。い。は。
其。一。律。に。て。天。竺。震。旦。吾。日。此。本。古。より。今。に。あ。る。と。申。の。由。
と。い。は。る。乃。今。あ。り。し。も。禁。部。の。あ。り。何。れ。の。也。保。念。は。念。仏。と
い。は。れ。世。に。念。仏。の。大。院。に。在。り。乃。信。解。脱。門。に。在。り。と。申。難。
し。保。念。又。保。念。と。い。ふ。は。保。念。の。由。方。と。い。は。れ。と。申。す。と。い。ふ。や。
され。は。信。念。擁。護。の。由。方。と。い。は。れ。と。申。す。の。由。方。と。申。す。保。念。の。由。方。と。
あ。ま。ね。と。い。は。れ。世。に。れ。保。念。と。い。は。れ。と。申。す。と。申。す。又。は。保。念。と。
い。は。れ。と。申。す。別。解。脱。幢。の。標。幟。と。い。は。れ。上。福。田。の。妙。相。と。い。は。れ。保。念。の。
乃。乃。保。念。と。い。は。れ。保。念。帝。釈。の。保。念。と。い。は。れ。保。念。の。衣服。と。い。は。れ。と。
申。す。大。龍。と。い。は。れ。保。念。の。由。方。と。い。は。れ。と。申。す。保。念。の。由。方。と。い。は。れ。と。申。す。

保念の由方

保念の由方

